

授業科目名 ＜英訳＞		医学コミュニケーション演習 Applied Medical Communication			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 岩隈 美穂				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 後期	曜時限	木4	授業 形態	演習	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<p>コースの概要 前期前半の医学コミュニケーション(基礎)を基に、後半は老いや障害についての社会科学的視点やいくつかの質的研究法について学ぶ。</p>											
[到達目標]											
<p>学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること） 前期前半の医学コミュニケーション・基礎の内容をさらに具体的に深める。 障害学、ライフスパンコミュニケーションについて学ぶ。 SCAT,会話研究などの質的研究について基本を学び、データ分析することができる。</p>											
[授業計画と内容]											
1 10/5 インTRODクシヨン 2 10/12会話研究1 (川島理恵氏 関西外国語大学短期大学部) 3 10/19会話研究2 (川島理恵氏 関西外国語大学短期大学部) 4 10/26 Steps for coding and theorization (SCAT)演習1 5 11/2 SCAT演習2 6 11/9 SCAT演習3 7 11/16 SCAT演習4 8 11/30異職種教育 (IPE) : 医薬看コミュニケーション 9 12/7 老いと障害とコミュニケーション1: 障害学 10 12/14 老いと障害とコミュニケーション2: 障害学 11 12/2 老いと障害とコミュニケーション3: ライフスパンコミュニケーション 12 12/28 老いと障害とコミュニケーション4: ライフスパンコミュニケーション 13 1/1 学生によるプレゼンテーション1 14 1/18 学生によるプレゼンテーション2											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点 (授業参加、授業態度を含む) 30% 2. レポート 50% タイトル (20%) + 最終レポート (30%)											
----- 医学コミュニケーション演習(2)へ続く↓↓↓											

医学コミュニケーション演習(2)

3. レポート発表 20%

[教科書]

プリントを配布する

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習（予習・復習）等]

レポートは研究計画書の作成です

(その他（オフィスアワー等）)

医学「コミュニケーション」のクラスなので、課題テーマを決める際、「関係性、心理、つながり、コミュニティ、コミュニケーション、社会」などのキーワードが入ることが望ましい。

医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。

障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮（Accommodation）が必要な場合、早めに相談に来ること。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 5名まで可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。